

障がい福祉施設 専門分野サービス評価調書

平成28年11月28日

施設名 幸報苑

委員名 千葉委員

区分	項目	評価			評価者のコメント	施設の対応等	
		A	B	C			
IV 2 日常生活支援	食事	(1) ① 栄養ケア計画(個別支援計画)に基づいた食事サービス	A			・利用者の意見がかなり反映されていた。	管理栄養士を中心に栄養マネジメント計画を立て支援にあたっている。個別支援マニュアルに基づく支援を行っている。
		② 利用者の嗜好を考慮した献立、楽しくする工夫	A			・食事検討会議等で、利用者の嗜好など意見が取り入れられている。	月1回食事サービス検討委員会を実施。利用者からの意見を献立に反映し献立表の中でわかるようにしている。(リクエスト、選択食等)
		③ 喫食環境への配慮	A			・利用者の介助の都合により席を決め、見守りを行うなど十分に配慮されている。	十分な時間をかけて食事が摂れるよう状態に合わせ時間をずらして食堂へ入ってもらっている。見守りや支援が必要な方には職員が付き添っている。
	入浴	(2) ① 利用者の個人事情への配慮	A			・利用者のプライバシーや安全面に配慮されている。	浴室入り口にのれんを掛けている。また、出入り際には必ず声をかけ、扉を開けることを知らせている。
		② 利用者の希望に沿った入浴	A			・入浴に関する細かい点まで利用者の意見が取り入れられている。	夏期の入浴日以外には、シャワー浴を実施。通年をとおし、足洗いをやっている。
		③ 浴室・脱衣場の環境	A			・ハード面には問題があるが、所属の職員の努力が見られた。	浴室と脱衣場の温度差をなくしたり、床が濡れて滑らないよう常に配慮している。ハード面では、個別浴槽の導入を検討している。
	排泄	(3) ① 排泄介助の快適さ	A			・個別マニュアル、個人リストを備え、細やかな介助が行われている。	個別支援マニュアルに沿った支援に心掛けている。マニュアルは、朝礼時に読み合わせし周知している。また、その都度加筆、訂正を行う。
		② トイレの清潔さと快適性	A			・設備は老朽化で致し方ないが、清潔さは職員の努力で保たれている。	掃除の回数を増やし清潔が保てるよう努力している。
	衣類	(4) ① 利用者の個性や好み、TPOに応じた衣類の選択	A			・服装の選択がうまく出来ない利用者には細やかな助言がなされている。	TPOに合わせた服装は難しいが、外出時等には声かけし服装を整えるようにしている。また、買い物外出を増やし自分で選んで購入する機会を増やしている。
		② 衣服の着替えや汚れへの対応	A			・重度の利用者は汚れることが多いが、絶えず気をつけて対応されている。	重度の方には汚れたら更衣をしてもらっている。また自分で更衣出来る方には汚れていることを伝え更衣を促している。
	健康管理	(7) ① 日常の健康管理	A			・各利用者の健康管理票が実に細かく、多義に亘り表記されているのには感心しました。	朝礼や、医務日誌にて通院報告、特記事項について周知できるようにしている。
		② 必要時に、迅速かつ適切な医療支援	A				体調不良時には早めの受診をしている。緊急時対応マニュアルに沿って看護師、医療機関との連携を図っている。
③ 薬の取り扱いと管理		A			・服薬管理は準備、確認、配薬を分担して行い、間違いのないよう確認されている。	薬の管理は看護師が行っている。福薬事には、他職員、本人に声をかけ確認している。重要な薬には、袋に赤色でラインを引き特に気をつけるようにしている。	

	A	B	C
第三者評価結果	13	0	0